

2019年8月22日
四国新幹線整備促進期成会

「四国新幹線整備促進期成会 東京大会」および
「四国への新幹線導入に向けた要望活動」について

本日午前11時から「四国新幹線整備促進期成会 東京大会」を開催するとともに、本日午後、四国への新幹線導入に向けた要望活動を行いました。

その概要について、以下のとおりお知らせいたします。

1. 四国新幹線整備促進期成会 東京大会について

(1) 大会概要

- ・別添1「第3回 四国新幹線整備促進期成会 東京大会 次第」のとおり。

(2) 出席人数

- ・主催者、来賓の皆様を合わせ、約500人にご参加いただいております。

2. 四国への新幹線導入に向けた要望活動について

(1) 要望先

- ・国土交通省 大塚 副大臣
- ・自由民主党 二階 幹事長
- ・財務省 岡本 事務次官

(2) 要望者

- ・四国新幹線整備促進期成会会長 千葉昭（四国経済連合会相談役）
- ・四国選出の国会議員の皆さま ほか

(3) 要望内容

- ・別添2「令和2年度(2020年度)政府予算等に関する要望書【四国への新幹線導入】」のとおり

以上

第 3 回 四国新幹線整備促進期成会 東京大会 次第

と き 令和元年(2019年)8月22日(木) 11:00~12:00

ところ 東京プリンスホテル 2階「マグノリアホール」

1. 開 会
2. 主 催 者 挨 拶
3. 来 賓 挨 拶
4. 来 賓 紹 介
5. 祝 電 披 露
6. 四 県 知 事 挨 拶
7. 決 議 採 択
8. 閉 会

以 上

令和 2 年度 (2020 年度) 政府予算等に関する
要 望 書
【四国への新幹線導入】

令和元年 (2019 年) 8 月

平素は、四国地域発展のため、格別の御支援を賜り、深く感謝申し上げます。

鉄道は、定時性や輸送力に優れた輸送インフラであり、特に新幹線はわが国の鉄道網の骨格として都市と地方、地方相互を短時間で結び、国家の発展に大きく貢献してきました。しかしながら、全国各地で新幹線の整備が進む中、四国は唯一新幹線の具体的計画のない地域として取り残され、その利便性を十分に享受することができず、地方創生に取り組む他地域との競争に大きく後れを取っています。また、地域の鉄道事業者は、急速な人口減少や高速道路に対する競争力の欠如からその経営環境はますます厳しさを増しつつあり、新幹線なくしてその将来の姿を描けなくなっています。

四国の新幹線は、四国の将来を見据えた地域づくりに必要不可欠なインフラであることはもとより、西日本における広域交流圏の形成や南海トラフ地震をはじめとする大規模災害への対応力向上、リダンダンシーの確保など、国土全体の一段の有効活用、さらには既存の地域公共交通の活用にも大きく寄与するものと考えます。

また国は、リニア中央新幹線で三大都市圏をつなぐスーパー・メガリージョンの早期形成や新大阪駅を新幹線ネットワークのハブとして位置付ける「地方創生回廊中央駅構想」などに取り組んでいますが、そうした効果を広く地方に波及させるためには、四国を含めて全国を新幹線ネットワークで結ぶことが不可欠であります。

四国は、「四国新幹線整備促進期成会」を中心に、四国一丸となって、その早期実現に向けた様々な取組みを進めてきました。今後も具体的な目標設定のもと、地域の機運醸成や新幹線を活用した街づくりの検討などに精力的に取り組んでいくこととしています。

国には、令和2年度(2020年度)予算において四国の新幹線の整備計画への格上げに向けた法定調査を実施するための措置を講ずるとともに、小規模にとどまっている新幹線建設予算を大幅に増額し、既存整備計画路線の早期完成と基本計画路線の早期事業化を推進し、もって「地方創生回廊」を一日も早く実現するよう要望いたします。

○要望事項

1. 令和2年度(2020年度)予算編成において、四国の新幹線の整備計画格上げに向けた法定調査を実施するための措置を講じていただきたい。
2. 新幹線ネットワークの早期整備による「地方創生回廊」の実現に向けて、新幹線建設予算を大幅増額していただきたい。

「四国新幹線整備促進期成会」中長期目標

四国は、「四国新幹線整備促進期成会」を中心に、四国の新幹線の早期実現に取り組んでいるところであるが、更に四国が一丸となって取り組みを加速させていく必要がある。

早ければ2037年にリニア中央新幹線が新大阪駅まで開通し、新大阪駅が「地方創生回廊中央駅」として開業することも踏まえ、四国が地方創生回廊から抜け落ちることがないように、期成会として中長期目標を以下のよう

○中長期目標

- ・ リニア中央新幹線が新大阪まで延伸されスーパー・メガリージョンが誕生する2037年を一つのターゲットとして、四国の新幹線の開業を目指す。

以上